

せいかわしだより

いよいよ一学期も今日で終業式です。一年生は初めての夏休み。六年生は小学校最後の夏休みです。子どもたちにとって有意義な夏休みになりますように。

心のこもったあいさつができる中央っ子

中央小学校では毎月始めに朝のあいさつ運動をしています。「いじむのいい学校」をめざして、校区福祉委員会のみなさん、民生児童委員さん、PTA実行委員さんが正門に立ちあいさつしてくださいました。子どもたちは正門を通る際に元気に明るくあいさつしています。去年から意識して取り組んでいる会釈をしてあいさつをすることもかなり浸透してきました。今では自分から会釈しながら「おはようございます」とあいさつできる子が増えてきました。これからもあらゆる機会を通してあいさつの大切さを伝えていきます。



子どもが「いじむのいい学校」になったら

いじめ・カウンセリング・教育相談・発達相談
子どもについて「ちょっと気になる」というサインを感じたら、すぐに対応することが大切です。それがどんなサインなのかを見極める必要があります。学校でいじめられているのかな、学習が難しくなってきたのかな、最近イライラしているのかな、集団生活ができていないのかな、保護者として子どもの様子が変わると不安になるのも仕方ありません。そんな時に誰かに相談すると解決の糸口が見えることがあります。

学校生活で...
悩んでいることはありませんか？
困っていることはありませんか？
いじめ、不登校...
誰でも相談できます。
コスモスタイヤルに電話してね。
コスモスタイヤル (仮設に設置する場内の電話対応)
0120-222-674 ☎433-7110
月・水・木 (祝日を除く)
9:15~16:45
貝塚市教育研究センター 教育相談室

貝塚市立中央小学校
生活指導だより
二〇一八年七月

裏面は、不審者避難訓練
安心安全教室
非行防止教室について

学校では子どものことで様々な相談を受け付けています。相談窓口は各担任ですが、担任以外には生活指導の枝村か、教頭岸田までご連絡いただいてもかまいません。学校では、毎週木曜日にスクールカウンセラーの森本先生(臨床心理士)が来校されるので、相談することができます。

昨年度から中央小学校にも通級指導教室が開設されました。子どもたちはそれぞれ多様な困り感をもっています。子どもの困り感や不安感については通級指導教室の武内または特別支援コーディネーターの松田までご連絡ください。

相談は学校だけではありません。保護者のご希望があれば、他の相談機関を紹介します。貝塚市教育研究センターや貝塚市役所健康子ども部子ども福祉課にも相談できます。



交通安全教室

本校では、校区にある関西自動車学院のご協力のもと、全学年に交通安全教室を開催しています。一学期は一年生と三年生で実施しました。



一年生の交通安全教室では、ルールマン、ゼブラマンズ、シグナルン、グリーンベルダーに登場していただきました。

一年生の交通安全の学習は、横断歩道の渡り方、信号を守ること、そして飛び出しの危険性についてです。パソコンを使って作成していただいた映像と面前の劇を交えて教えてくださいました。子どもたち一人ひとりが笑顔になりつつも、しっかりと交通安全に気を付けようという意識を持つことができましたと思います。

登下校の正門前付近での駐車ご遠慮ください



続いて三年生も、関西自動車学院の職員のみなさんによる交通安全教室をしていただきました。今年も、ゲストにイハンター、イ・ハンスル、そしてメンティ将軍が登場しました。三年生は主に自転車についてお話ししていただきました。まずは自転車の点検、次に自転車の正しい乗り方について、安全な発進の仕方、横に並んで走ると危険、道路のどこを走るのかについて、そして危険な場所の通り方について順に映像を使ってお話してくれました。関西自動車学院のみなさん、本当にありがとうございました。



一学期中に交通事故が三件ありました。幸いけがは比較的軽度のもので済み、事故にあった児童も元気に学校生活を送っています。

先日プリントでお知らせしましたが、登下校時に正門前付近での駐車はご遠慮ください。朝は正門前に赤いコーンを並べています。

児童の登下校は交通ルールを学ぶだけでなく「歩く」ことを通して体力をつけています。毎日の登下校、六年間の登下校でつく体力は大きな財産です。児童の安全と体力のためにもご協力お願いいたします。

一年生 安心安全教室



七月九日（月）、一年生は安心安全教室を行いました。講師の先生として貝塚市教育センターから木下指導員に来ていただきました。

まず、安心安全教室とは、みんなのような子どもたちが悪い人に連れていかれたり、けがをさせられたりしないように、みんなで勉強することですと説明がありました。そして具体的にどんな場面かをわかりやすく実演してくださいました。最後にキーワード「いかのおすし」

いか……行かない の……(重)に乗らない
お……大声で叫ぶ す……すぐ逃げる
し……(大人に)知らせる
を守ってくださいと教えてもらいました。

二年生 安心安全教室

今回、読売新聞社全国読売防犯協力会、大阪府警、貝塚警察のご協力により、二年生の安心安全教室をしていただきました。

地球戦士ゼロスや人を連れ去るツレサリーナ、ひったくりをするヒッタクラが登場して、子どもたちが安全に対応できる手段を教えてくださいました。命を守る約束、一人であそばない、知らない人について行かない、連れ去られそうになったら大声をだしたり子ども110番の家に逃げ込むなど、教えてくださいました。また、ゼロスたちの迫真の演技にびっくりしていましたが、命を守る大切さをしっかり学習することができました。



三年生 非行防止教室



六月二十九日（金）、三年生は非行防止教室を行いました。講師の先生として貝塚市教育センターから木下指導員に来ていただきました。木下先生は元大阪府警の警察官です。自らの経験を生かして子どもたちにわかりやすくお話していただきました。学校のきまりがあるように守らなければならぬ法律があること、万引きや落書きは犯罪であり、協力すれば共犯になること、犯罪者にならないためにしっかりと守られる子になってほしいと伝えてくれました。時には子どもたちに声をかけて意見を聞いた

四・五年生 非行防止教室

七月一七日（火）と一八日（水）に四、五年生は非行防止教室を行いました。講師の先生として貝塚市教育センターから木下指導員に来ていただきました。

木下先生からは、犯罪にまつわる話から、現在ではスマホを使った犯罪に巻き込まれることが多いこと、表現の仕方によってはいじめの温床になってしまふと教えてくださいました。そこで子どもたちにスマホの正しい使い方、トラブルや犯罪に巻き込まれないようにするにはどうすればいいのか教えていただきました。今やスマホは日常生活に欠かせないものになりつつあります。使用するにあたり、個人情報や載せない、ネット上で知り合った人とは会わないなどネットでの危険性を教えてくださいました。

また五年生は岸和田サポートセンターの方にも来ていただき、非行防止教室を受けました。非行は未成年が喫煙したり、夜遊び、力の暴力、言葉の暴力など、犯罪につながる入口であると話していただきました。犯罪を犯すと、お家に帰れない、遊べない、自由がなくなってしまう。今回は主に「万引き」と「ルールを守ること」



について人形劇やお話を通じていただきました。犯罪は、自分が後悔するだけでなく、家族や周りの人に迷惑をかけてしまいます。悪い心に打ち勝つ強い心、悪いことに誘われても断る勇氣、友だちが悪いことをしうになつたら止める心を持ってください、と話して下さいました。

六年生 非行防止教室

六年生は、貝塚警察少年課の職員の方に来ていただき、非行防止教室を行いました。今回学習したのは、非行によって犯罪に巻き込まれたり、相手に迷惑をかけることがあること。場合によっては責任を負わなければならないこと。そしてなにより家族が悲しむことになることを具体的な事例を挙げてお話していただきました。また一旦非行に走るとなかなか止まらず、非行グループに狙われ、ますます非行に走る実態も話してくださいました。非行に走らないためにも自分を磨き、悪い心に打ち勝つ強い心を育ててほしいと話してくださいました。



不審者避難訓練

七月十日（火）、不審者避難訓練を行いました。不測の事態に備えて自分はどう行動すべきかを考えてほしいために、児童にはこの教室に不審者が入るか伝えませんでした。

十時二五分ごろ、六年四組に不審者役の生活指導が侵入しました。担任の先生の指示のもと児童たちはすばやく別の部屋に移動し、別の児童はパニックボタンを押してみんなに不審者がいることを知らせてくれました。その後は職員による不審者対応と確保、児童たちは運動場に避難しました。命を守る訓練に子どもたちは真剣に取り組めたと思います。

